

# 静岡県立こども病院 小児科専攻医(後期研修医)研修プログラム

## 研修の特徴

- 1 研修医一人一人の経験や希望に合わせて柔軟性のあるプログラムを作成
- 2 救急総合診療科スタッフによるマンツーマンの研修サポート
- 3 豊富な院内セミナー、カンファレンス
- 4 研修医と指導医の相互評価システム
- 5 小児専門病院の高い専門性と基本的小児科疾患の両方を経験できるプログラム
- 6 海外のこども病院との連携
- 7 国際医療協力への参加

## 1 オーダーメイド+屋根瓦式プログラム

研修1年目は、一人一人の経験、希望、相互評価に基づいて、救急総合診療科を3~12ヵ月間ローテーションする。

研修2年目には、静岡済生会病院または聖隷浜松病院において、4~6ヵ月間の一般小児科研修を行う。それ以外の6~8ヵ月間は、期間、診療科を自由に決めてローテーションを行う。

研修3年目には、2~3ヵ月間、再び救急総合診療科をローテーションし、1年目後期研修医の指導を行う。その他の9~10ヵ月間は2年目同様、期間、診療科を自由に決めてローテーションを行う。

\*外科系診療科および産科のローテーションも可能。

(一例)

1年目	医師 A	救急総合診療科				
	医師 B	救急総合診療科				
	医師 C	救急総合診療科	NICU	アレルギー		
	医師 D	救急総合診療科		麻酔		
	医師 E	救急総合診療科				
2年目	医師 a	一般小児科	PICU	腎臓	アレルギー	
	医師 b	PICU	一般小児科	血液		
	医師 c	NICU		血液	一般小児科	
	医師 d	循環器	NICU	神経	一般小児科	
	医師 e	腎臓	循環器	一般小児科	血液	
3年目	医師 1	循環器	麻酔	NICU	神経	救急総合診療科
	医師 2	NICU	PICU	救急総合診療科	神経	
	医師 3	循環器	救急総合診療科	腎臓	PICU	
	医師 4	救急総合診療科	循環器	麻酔	内分泌	腎臓
	医師 5	救急総合診療科	小児外科	脳外科	泌尿器科	
		4月	7月	10月	1月	4月

## 2 救急総合診療科スタッフによるマンツーマンの研修サポート

後期研修医1名に指導医1名で一つのチームを構成し診療に当たる。

コンビは2～3ヵ月ごとに組み合わせを変え、多様性のある指導を行う。

静岡県立こども病院 救急総合診療科（平成22年5月24日現在）

科長	加藤寛幸	小児科専門医 PALS instructor JATEC provider ICD (Infection Control Doctor) 新臨床研修指導医 国境なき医師団日本 副会長 Diploma in Tropical Medicine & Hygiene
医長	勝又 元	小児科専門医 アレルギー専門医 PALS provider JATEC provider 新臨床研修指導医
副医長	関根裕司	小児科専門医 医学博士 PALS provider JATEC provider 新臨床研修指導医
副医長	山内豊浩	小児科専門医 PALS provider JATEC provider
医師	山田浩介	PALS provider NCPR provider
医師	黒澤茶茶	小児科専門医 麻酔科標榜医 PALS instructor BLS instructor JATEC provider
医師	武藤未来	小児科専門医 PALS provider

## 3 豊富な院内セミナー、カンファレンス

□モーニングレクチャー 火・水・木 0830-0900

救急総合診療科スタッフによるレクチャー

□内科系病棟カンファレンス 水 1230-1300

主に後期研修医が症例提示を行い、その後スタッフを交えてディスカッションを行う。

第1週 北館5階病棟（血液腫瘍科、腎臓内科）

第2週 北館4階病棟（幼児、学童を中心として感染・免疫・アレルギー科、救急総合診療科）

第3週 北館3階病棟（乳児を中心として腎臓内科、血液腫瘍科、救急総合診療科）

第4週 北館2階病棟 NICU（未熟児・新生児科）

□放射線科カンファレンス 木 1230-1300

放射線科スタッフによる研修医を対象としたレントゲン読影法に関するレクチャー

□院内セミナー 木 1800-1900

各診療科および薬剤部、栄養課などの院内の様々なセクションの担当者が毎週、研修医を主な対象として様々なテーマでレクチャーを開催。

□小児救急シミュレーション 火・金 1500-1600

PALS（小児2次救命処置）、JATEC（外傷初期診療コース）に沿った形で、シミュレーターを使用したシミュレーショントレーニングを実施。

□抄読会 金 0830-0900

#### 4 研修医と指導医の相互評価システム

3 ヶ月毎に後期研修医と指導医が相互評価を行い、より良い研修に役立てる。

#### 5 小児専門病院の高い専門性と基本的小児科疾患の両方を経験できるプログラム

小児専門病院でなければ、なかなか経験できない貴重な症例を経験できることは言うまでもなく、静岡市夜間小児急病センターでの一次小児救急症例の診療、静岡市小児救急輪番制度への参加により二次小児救急症例の診療に当たることを通して、基本的小児科疾患をも十分に経験することが可能。

#### 6 海外のこども病院との連携

シドニー・ウエストメッドこども病院（1880年設立、ベッド数 339 床、オーストラリアの小児医療、研究の中心的存在）より、後期研修トレーニング担当医師を招き、カンファレンス、回診、シミュレーションなどを行う。希望によりウエストメッドこども病院 救急部での1 ヶ月間の研修を行う。



#### 7 国際医療協力への参加

2009・2011 年度：熱帯小児科学コース（Mahidol 大学 熱帯医学校、バンコク）に参加。

2010・2011 年度：NGO ベトナムの子ども達を支援する会の活動に参加（ベトナム ベンチェ省）。



救急総合診療科 週間スケジュール

	月	火	水	木	金	土	日
0700	<p align="center"><b>病棟での情報収集</b> 必要に応じて検査、処置</p>						
0800	<p align="center"><b>モーニングカンファレンス</b> ・当直医および救急総合診療科オンコールからの申し送り ・PICU ラウンドへの参加</p>					<p align="center">当直医からの申し送り</p>	
		レクチャー	レクチャー	レクチャー	抄読会		
0900	救急総合診療科 ラウンド (ベッドサイド)	救急総合診療科ラウンド (ベッドサイド)			診察・検査・指示	<p align="center">病棟 ラウンド</p>	
1000							
1100	<p align="center">診察・検査・指示</p>						
1200	<p align="center">昼食</p>		<p align="center">昼食</p>		<p align="center">昼食</p>	<p align="center">昼食</p>	<p align="center">昼食</p>
			<p align="center">病棟 カンファ</p>	<p align="center">XP カンファ</p>			
1300		診察・検査・IC		診察・検査・IC	診察・検査・IC	<p align="center">診察・検査・IC</p>	
1400	診察・検査・IC		診察・検査・IC				
1500		小児救急 シミュレーション		小児救急 シミュレーション			
1600		退院カンファ		診察・検査・IC	救急総合診療科 病棟ラウンド (ベッドサイド)		
1700	<p align="center">オンコール・当直医への申し送り</p>						
1800				院内セミナー			